



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより

令和 5年 4月 18日
第 2 号

全校児童がそろいました！

4月11日(火)に、入学式を行いました。晴天に恵まれた、あたたかな日の中、元気な81名の1年生が入学しました。ぴかぴかの新生たちは、お話を一生懸命に聞いて、名前を呼ばれたときはしっかり返事ができていました。手と足を大きく振って入退場する児童もいて、とても張り切っているのがよくわかりました。

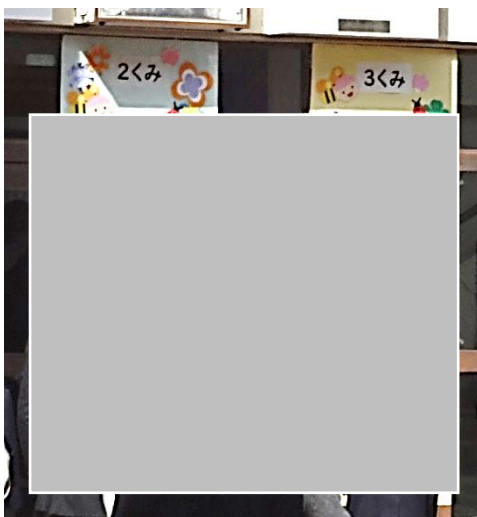
式辞の中で、「おはよう」と「ありがとう」「だいじょうぶ」の3つの言葉を大切に楽しい学校生活を送りましょう、と話をしました。

まず、「おはよう」という挨拶をきっかけに、人とつながりを大切にする子になってほしいとの思いがあります。挨拶をして挨拶が返ってくるとそれだけで元気になれる気がします。学校の生活の重点目標の一つに「あいさつをしよう」があります。登下校の安全を見守ってくださる地域の方や学校で出迎える教職員、クラスの仲間(親しい友だちでなくても!)に、積極的に「おはよう」と挨拶をしていきましょう。

2つ目の「ありがとう」は、感謝の気持ちを伝える言葉です。「ありがとう」は、「有ることが難しいほど稀なこと」からきた言葉といわれています。してもらって当たり前ではなく、お世話になった時は相手の好意に気が付いて感謝の気持ちをきちんと伝えられる人になってほしいと願っています。

3つ目の「だいじょうぶ」は、相手を心配する時にかける言葉です。それと同時に、人や自分を「だいじょうぶだよ」「それでいいんだよ」「きっとできるよ」と励ます言葉でもあります。自信を無くしそうになっている時、困っている時に、「だいじょうぶ」の言葉は、どんなに支えとなることでしょうか。この3つの言葉が、お互いに声かけあう学校になってほしいと願い、今年度の教育活動を進めていきたいと考えています。どうかよろしく願いいたします。

1年生は、少し長めのお話にも、ときおり、「はい」「わかりました」と返事をする子たちも結構いて、真剣に聞いているのが感じられました。これからはとっても楽しみになりました。これで、1年



生 81 名、2 年生 100 名、3 年生 78 名、4 年生 90 名、5 年生 98 名、6 年生 100 名で全校児童は 547 名となりました。

新しい学年・学級、 担当の先生

4月6日始業式当日の朝、登校後すぐに新しい学年の教室へ行くと、廊下に新しいクラスのメンバー表が貼ってあり、新しい担任の先生の名前も表示されています。ですから、始業式の前の担任等発表の時には、自分の担任の先生が誰なのか既に知っているのです。でも、この時の子どもたちの関心は、以前に持ってもらった先生がどこの担当になったのか、ということでした。体育館舞台前に、学年とクラスの順に並んで一人ひとり紹介していきました。子どもたちは、あたたかい拍手を送ってくれました。

理科が専科制に

今年度は右表にある担当で教育活動を進めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。例年と異なるところは、第1号でお知らせしたとおり通級指導が自校式で開始すること、理科が専科

校長		教頭	
学年	1組	2組	3組
1年			
2年			
3年			
4年			
5年			
6年			
しかのだい学級			
5・6年理科		3・4年理科	()
3～6年音楽		5・6年家庭科 3・4年図工	
通級指導		日本語指導	
特別支援教育 補充			
養護		事務	
校務		学校司書	
特別支援教育 支援員			
スクールサポ ートスタッフ			
ALT		わくわくEnglish サポーター	

制になったことです。より専門性の高い授業を行い、理科的な見方を身に付け科学的に考える理科の楽しさを知ってくれればと願っています。ところが、「3・4年理科」の枠が()書きになっていることに気が付かれましたか。それは、特休をとっている教員の代わりの講師がいまだ配置されていないからです。よって、今年度も、昨年度に続き1名不足の状態からのスタートとなってしまいました。